

年頭所感



五霞町長

染谷 森雄

新年あけましておめでとうございます。皆様には、平成30年の新春を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。昨年は町政全般にわたりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年8月には茨城県知事選挙があり、大井川知事が誕生しました。新知事には、茨城の力を結集し、課題山積の地方創生に、そして県民が希望と実感を持てる「新しい茨城づくり」に、政策手腕を大いに発揮して

いただきたいと思います。

近年、各地で自然災害が多発しております。幸い昨年本町は災害の無い平穏な一年でしたが、災害はいつ発生するか予測出来ません。町民の生命財産を守るのは行政の責務です。そのため町では、地域防災力の一層の向上に努めておりますが、いざという時には町民一人ひとりの「自分の身は自分で守る」という日ごろからの「心構え」が重要です。また、自然災害ではありませんが、北朝鮮の弾道ミサイルも脅威です。防災意識を高めていただくようお願いいたします。

圏央道も昨年県内区間が全線開通し、また五霞インター周辺開発事業も順調に進められております。進出企業の社屋建築等も始まりインター周辺の景色もだいぶ変わってまいりました。現在、商業施設の誘致を鋭意進めております。圏央道開通により、さらに高まった発展可能性を最大限に活かし、計画の着実な実現に努めてまいります。

「道の駅ごか」も13年目に入っておりますが、昨年8月には開設以来の累計来場者数が1,000万人を突破しました。今後も、皆様から愛され選ばれる

道の駅となりますよう、販売組合員の皆様と共に頑張っております。

その他、アクセス道路の整備、少子高齢化対策、人口減少への対応等、課題山積ですが、五霞町を着実に成長発展させて次世代に引き継ぐため、全職員一丸となって取り組んでまいります。本年も尚一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年も皆様方にとって素晴らしい一年となりますようお祈りを申し上げて、挨拶と致します。

新春を迎えて



五霞町議会議長

樋下 周一郎

あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は町政発展に種々のご支援、ご協力並びに町議会に対し、深いご理解とご協力を賜りまして、心より感謝とお礼を申し上げます。議会を代表しまして新年のご挨拶を申し上げます。さて、昨年はJアラートが2

回放送されるという事態に、北朝鮮のミサイル問題には、大変緊張感を持った方が多かったと思います。平和的な方向に進むよう期待するものです。また、台風21号が関東地方を通過するなど、水害などの自然災害に対して危機管理体制の充実、町民の皆さんの安心・安全を守るうえで、大変重要なことと認識しております。

そのような中で、少子高齢化における人口減少問題は、町の大きな課題です。町の人口は、10年で約1,000人減少しており、教育や社会活動など、そ

それぞれの分野に影響を及ぼしています。若い世代が町に住んでもらえる魅力と施策が求められており、インター周辺開発も、町民の皆さんが要望する商業施設の立地が期待されているとこ

ろです。そして、農業の分野においても、昨年度から今年度にかけて農業委員や減反政策など大きな制度改正が行われていく中で、高齢化の波は大きく、農家人口の減少は避けられない状況になってきています。今こそ、農業の活性化のための施策が求められています。